

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2251 号

Comparison of involved field radiotherapy and elective nodal irradiation in combination with concurrent chemotherapy for T1bN0M0 esophageal cancer

T1bN0M0 食道癌に対する化学放射線療法における involved field radiotherapy と elective nodal irradiation の比較

中谷 行宏 (なかたに ゆきひろ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、stage I (cT1bN0M0) の食道癌に対する総量 60Gy の根治的化学放射線療法 (CRT) におけるリンパ節領域を含む照射野 ENI 群と、リンパ節領域を含まない IFI 群と比較した論文である。ENI 群は、IFI 群と比べ、全死亡率が高いが、食道癌死亡率は差がなかった。死亡率の差は、食道癌以外の晩期毒性によるものであった。多変量解析では、ENI (HR 3.63, $p < 0.001$)、70 歳以上 (HR 2.65, $p < 0.001$) PS=1 (HR 2.36, $p = 0.003$) が独立した予後不良因子であった。

stage I (T1bN0M0) 食道癌に対する総量 60Gy の CRT において、リンパ節領域への 40Gy の予防照射の追加は、他病死を増加させ、予後を悪化させる可能性がある。この論文は stage I (cT1bN0M0) という治療前にリンパ節転移を指摘されていない症例に絞って照射野による死亡率の差を比較し、広すぎる照射野による晩期毒性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。